

千西一週

号外

上田西高校
新聞委員会
編集局

編集局長
下谷梓

号外 (第59号)
発行
2019年9月12日

羽毛田 莉歩
奈良本 梓
松木 萌愛

撮影: 奈良本梓

イタリア代表 菅平へ

9月11日
(水)に、ラゲ
ビーイタリア代表
がW杯の事前キャン
プを行っている上田市
菅平のサニアパーク菅
平で練習を公開した。
編集局では練習の様
子や菅平の環境、
W杯での意気込
みなどを取材
した。

「まずはコンディションの回復を優先」 トレーニング環境に満足

ラグビーイタリア代表が日本で
行われるW杯に向け9月8日
(日)から上田市の菅平で事前キャン
プを行っている。キャプテンの
セルジョ・パリッセ選手に話を聞
いた。主将は菅平のトレーニング
環境は非常に良く素晴らしい環境

で歓迎してもらい事前キャンプと
しては最高の状態でトレーニング
ができると感じているようだ。今
回の菅平キャンプでは、ヨーロッパ
を発つ前の試合や日本までの長旅
の疲れを回復させることを目的と
し、スタッフ全員、チーム全員が

リラックスして休むことに重点を
おいているという。
現在は時差ボケの解消や気候に
合わせた調整を行っており、先日
は菅平をサイクリングしたりトリ
体調面での回復を優先させている
。「滞在しているホテルの皆さま

んはとても親切で食事もおいしく
公開練習の会場にもなったサニア
パークの環境も良く、ワールドカッ
プに向けて素晴らしいトレーニング
ができている」と主将は続けた。
コーナー・オシエイヘッドコーチも
「菅平はスピードだけでなくスポー

ツをするためのコンディションが
素晴らしいと感入っている。」
と話す。
今回のW杯でイタリアが入った
予選リーグには強豪国が揃ってい
る。そして日程も詰まっており、
いかに良いプレーをして良い結果

を出すのが大事だという。パリッ
セ主将は「まずは最初の2試合で
いい結果を出し、その上で次の南
アフリカ、ニュージランドとい
う世界のチャンピオンチームとの
試合を見ていきたい」と意気込み
を話した。
(松木)

イタリア代表プロフィール

主力選手
ている。
W杯は第
進出に引
いて

がイングランドやフランスのクラブでプレーし、世界のトップレベルで揉まれ
愛称はアズーリ。伝統的にFWがパワフルで、スクラム強国としても知られる。
1回から全て出場しているが、決勝トーナメントに出場したことはなく、初の8強
挑む。大黒柱として長く活躍するNo. 8のセルジョ・パリッセ主将がチームを牽
引する。FWとBKが織りなすダイナミックなラグビーに注目したい (奈良本)



イタリア代表の公開練習の様子。FWの動きも確認していたが(写真上)、多くの時間をブレイクダウンからの展開の確認やセットプレーの確認に使っていた。(写真中央、下)

公開練習 ブレイクダウン後の展開を確認

伝統的なFW強国と言
われるイタリアだが最近
はBKの展開力にも力を
入れ、パスのスキルを磨
いている。昨日の公開練
習でも美観的な練習を行っ
ていた。冒頭は、FWで
の攻撃練習も行っていた
が、ブレイクダウン後の
展開や局面を切り取って
のセットプレーの確認、
ロニアのディフェンスラ
インを突破する場面が多
くみられ、85対15とい
う大差で勝利を収めた。
W杯での初戦ナミビア
戦や、2戦目のカナダ戦
でも練習通りFWを起点
に、強力BK陣による展
開と突破に
よる得点に
も期待がで
きそうだ。

W杯で1、2戦目をも
のにし、大一番となるで
あろう南アフリカ戦に備
えたい。前回のW杯で3
位という戦績を残した南
アフリカに勝利すること
ができれば意願の予選リー
グ突破に大きく近づく。
(羽毛田・松木)

パリッセ主将 高校生へメッセージ

「ラグビーは思いやりのスポーツだ」
は「ラグビーは
個々のチャ
生かしたプレーをする
ことができる」と続け
た。
また、「ラグビーと
いうスポーツには相手
や味方に対するリスベ
クトであったり、教育
的な価値を学ぶことが
できる魅力があ
る」「若い高校
生にも関心を持っ
ていただきたい
と思う」と高校
生に向けてラグ
ビーの魅力を語っ
てくれた。
(羽毛田)



囲み取材に応じるラグビー
イタリア代表主将のセルジョ・
パリッセ主将
生に「若い高校
生にも関心を持
ていただきたい
と思う」と高校
生に向けてラグ
ビーの魅力を語
ってくれた。
(羽毛田)